

パリ外国宣教会から札幌教区ベルナルド勝谷司教様と信徒の皆様へ

フランス人の成人男性 T 氏が、同じフランス人である本会の司祭 P 神父を 2022 年 7 月に不同意性交をしたと告発しました。その時まで P 神父は札幌教区で奉仕していました。

この重大な告発に対して、パリ外国宣教会（以降 MEP と省略）は、両者から事情を聴きました。P 神父は断固としてこの告発内容を否定しています。

両者ともフランス人であったため、2022 年 8 月 2 日、MEP はフランスの司法当局にこの件を報告しました。フランス警察の捜査はいまだ行われており、完了していません。

MEP は、この件をバチカンの教理と信仰省にも報告しました。また、フランスの教会刑事裁判所に委託された教会法に基づく調査を開始しました。

MEP は、T 氏の訴えに衝撃を受け、この件で傷ついた氏に寄り添ってまいりました。私たちは、この件で札幌教区の勝谷司教様とご信者の皆様が傷つかれたことに困惑し、申し訳なく思い、司教様と日本のカトリック教会にお詫び申し上げます。

フランス警察と教会裁判所で調査は現在進行中なので、結果が出るまでは何も動くことができません。調査の秘密は尊重されなければなりません。裁判所の裁量に委ねられなければなりません。

この調査が続いている間、P 神父は MEP によって待機処分を受けています。

数人の MEP の長上たちと、さらに数人の司祭は、それぞれたいへん多くの時間を T 氏の話聞くことに費やしました。また、フランスの教会の性的被害者支援の団体の専門の弁護士と心理学者を彼に紹介しました。

MEP はまた、T 氏がフランスに来て話をするための旅費、滞在費に必要と思われる額（T 氏の求める額には達しませんでした）を負担しました。

MEP は、必要な措置を講じるため、MEP の性暴力問題について外部監査を実施することを決定したことをお知らせします。MEP は、英国の独立系企業 GCPS Consulting にこの監査の実施を委任しました。（<https://gcps.consulting>）。この監査は 2024 年 12 月に終了の予定です。

MEP の会員によって行われた可能性のある性的暴力を懸念して情報を提供したい方は、GCPS 監査チームに次のアドレスから連絡できます：[mep\\_review@gcps.consulting](mailto:mep_review@gcps.consulting)

この問題に関しては、GCPS への連絡をお願いしたいのですが、当然ながら、法に触れる懸念のある問題であれば、該当する管轄部署に問い合わせることを妨げるものではありません。

パリ外国宣教会、パリ、2024 年 4 月 8 日

[media-communication@missionsetrangeres.com](mailto:media-communication@missionsetrangeres.com)